

Environmental protection

ハスの葉の上を転がる水滴

環境保全

主なSDGsとの対応関係



OUR APPROACH

私たちは、製品による環境への貢献の他に、事業活動における環境負荷低減の側面からも環境保全に取り組んでいます。事業活動では、製造における各工程でのエネルギー使用の削減や、廃棄物発生抑制、再利用、再生利用の推進に取り組んでいます。中でも地球温暖化防止については、パリ協定やSDGsを踏まえ、東洋アルミグループの創立100周年である2031年にCO₂排出量30%削減(2013年度比)を目標に掲げており、今後、具体的な取組みを推進していきます。

また、生産拠点を中心とした16拠点ではISO14001の認証を取得しています。環境マネジメントシステムの効果的な運用を通じて、環境トラブル発生防止や各種法令の遵守に加え、環境負荷の低減を図り、持続可能かつ地球環境と調和した経営活動を推進します。

東洋アルミグループ一丸で環境問題に取り組み 脱炭素や循環型社会実現に貢献していきます

設備導入・改造および、生産活動における省エネルギー、環境汚染防止に務めていたエンジニアリングセンター部門が今回のMXプロジェクトの一環で組織再編され、コーポレート部門として、各事業所の環境保全活動を支援するユニットとなりました。

政府によるカーボンニュートラル表明により、日本国内も脱炭素社会の実現に向け、大きく動き出しました。これまでの地道な省エネルギー活動も拡大・継続していきますが、もはや、それだけで削減できるレベルではありません。

東洋アルミグループ一丸となり、まずは具体的な目標設定を行い、実現へ向けて前進させていきます。

また、工程内のサーマルリサイクル、排水、廃液循環の推進をはじめ、サプライヤーなどと連携し、梱包資材、各種製品リサイクルを促進させ、環境負荷低減に貢献していきます。



執行役員
箔事業本部
八尾製造所
ユニット並びに
コーポレート部門
エンジニアリング
センターユニット担当
辻野 雅佳

Practice case

CSR重要課題実践事例

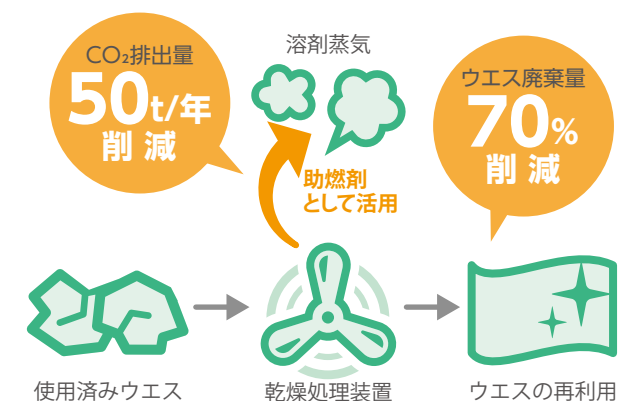
case 01 事業活動からのCO₂排出量削減 カーボンフットプリントの実施

パウダー・ペースト事業本部では、原材料調達から生産、輸送、使用、リサイクル、廃棄までに排出される温室効果ガス排出量をCO₂に換算する「カーボンフットプリント」に取り組み始めました。お客さまからの環境ニーズにお応えするとともに、東洋アルミグループにおけるカーボンマネジメントのモデルケースとして取組みを拡大していきます。

※詳細はP9~12を参照してください

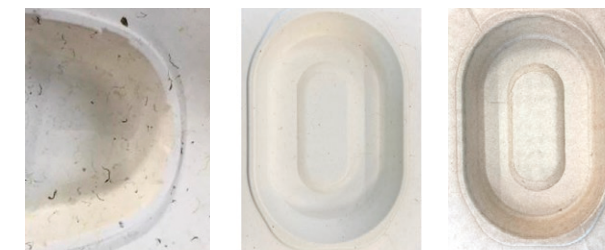
case 02 事業活動からのCO₂排出量削減・事業活動からの産業廃棄物削減 使用済みウエスの活用

群馬製造所では使用済みの溶剤が付着したウエス(機器清掃用の布切れ)の活用に取り組みました。これまでは使用後はそのまま廃棄していましたが、これを乾燥処理装置に投入することで、ウエスが再利用できるようになります。また乾燥処理の際に発生する溶剤蒸気を脱臭炉装置の助燃剤として活用することで、燃焼効率がよくなり、省エネルギー効果によるCO₂排出削減もできました。この取組みにより、ウエスの廃棄量の約70%削減、さらに約50t/年のCO₂排出削減が可能となりました。



case 03 紙容器のリサイクルシステム構築 紙容器リサイクルの推進

東洋アルミエコープロダクツ(株)滋賀工場が発生する紙くずを、パルプモールド容器(パルプを材料とする成形容器)としてリサイクルするための取組みを進めています。2020年度は試作品の検討を重ね、今後顧客先での実証テストを実施していただく予定です。また、使用済み製品の回収を想定した、食品残渣下でのリサイクルテストを実施します。



試作品1 発生した紙屑を細かく破砕し、離解工程で樹脂とパルプを分離して成型
試作品2 フィルターで細かい樹脂を除去して成型
試作品3 リサイクルパルプの強度不足を補うため、バージンパルプを混ぜて補強

case 04 事業活動からの産業廃棄物削減 リサイクルを前提とした梱包資材の採用

大型資材用の梱包木枠は、これまで使用後に廃棄していましたが、リサイクルしやすいように設計変更を行い、現在試行中です。廃棄物排出量の削減に貢献する他、廃棄処分のコスト削減にもつながります。



Topics 事業活動からの産業廃棄物削減 作業服のリサイクル

八尾製造所では年2回、作業服が支給されますが、使用済みの作業服を回収し、リサイクルする取組みを始めました。環境に対するインパクトは大きくはありませんが、従業員一人ひとりの環境意識を高める効果にも期待しています。

